

オンライン授業を受けるための準備

Zoom編

この文章は、学生の皆さん、主として新入生のみなさんがスムーズにオンライン授業を受けられるように、Zoomの使い方について、様々な情報をまとめたものです。利便性を重視して、外部サイトの引用が多く掲載されていますが、引用されているリンク先の情報は、古くなったり、大妻女子大学のケースがあてはまらないこともありますので注意してください。

目次

[授業URLの通知を受け取る（PC・スマートフォン共通）](#)

[Zoomソフトウェア／アプリをインストールする（PC使用）](#)

■[授業URLを知っている場合](#)

■[授業URLを知らない場合](#)

[ルームに入室する（PC使用）](#)

■[URLをクリックする方法](#)

■[IDを入力する方法](#)

[Zoomの使い方（PC使用）](#)

[Zoomソフトウェア／アプリをインストールする（スマートフォン使用）](#)

■[授業URLを知っている場合](#)

■[授業URLを知らない場合](#)

[ルームに入室する（スマートフォン使用）](#)

■[URLをクリックする方法](#)

■[IDを入力する方法](#)

[Zoomの使い方（スマートフォン使用）](#)

[ルームに入室したら（PC・スマートフォン共通）](#)

[Zoomの通信量を節約したいとき（PC・スマートフォン共通）](#)

 [初回授業で行いたい演習](#)

[謝辞](#)

[出典・リンク](#)

授業URLの通知を受け取る（PC・スマートフォン共通）

授業前に科目の担当教員から授業URLの通知があります。下図はZoomの通知例です。通知方法は担当教員に任されています。一般的にはmanabaのコースニュースからの通知になると思いますので、manabaからの通知に注意しておいてください。また、授業URLは受講生以外には漏らさないようにして下さい（部外者による嫌がらせ（例）Zoom爆撃）が報告されています。）。授業URLやID、パスワードは 外部から見えるブログやtwitter、インスタグラム等のSNSには転記しないでください。

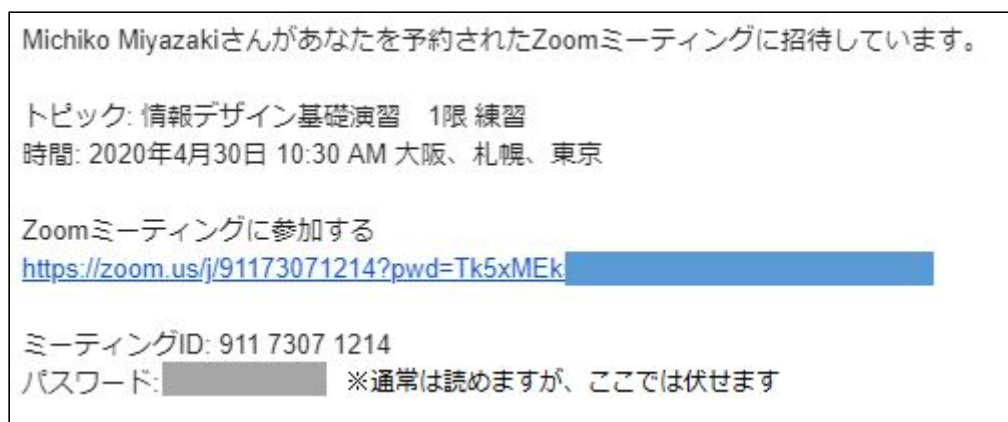


図. Zoomの通知例

「Zoomミーティングに参加する」の下に示されているURLをクリックすると、ルームにアクセスします。この例では”pwd=”以下に暗号化されたパスワードが埋め込まれているので、ワンクリックで入室が可能になる便利さがある一方で、部外者にも容易に入室を許してしまう危険があります。URLは部外者には絶対に知らせないように注意して下さい。

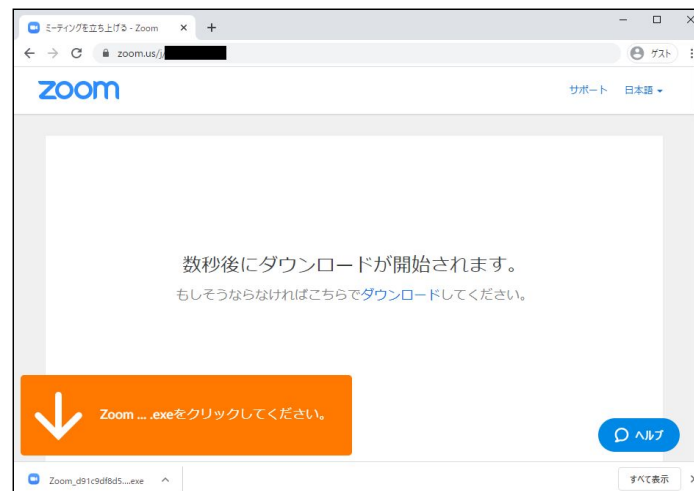
担当講師からパスワードが埋め込まれていないURLが呈示された場合には、パスワードを入力してルームにアクセスします。

Zoomソフトウェア／アプリをインストールする（PC使用）

Zoomは参加するだけならアカウントは必要ありません。授業URLからアクセスするか、ダウンロードセンターでソフトウェア／アプリをインストールして下さい。**現在偽物のZoomソフトウェアの存在が指摘されています（参考資料「[【解説】“偽Zoom”の「見破り方」は？」](#)）**。必ず下記のダウンロードサイトからインストールするようにして下さい。

■授業URLを知っている場合

授業URLにアクセスします。Zoomソフトウェアがインストールされていない場合には、下図のように自動的にインストールが始まります。



■授業URLを知らない場合

[ダウンロードセンター](#)からソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。



ルームに入室する（PC使用）

ルームに入室するにはURLをクリックする方法と、IDを入力する方法があります。

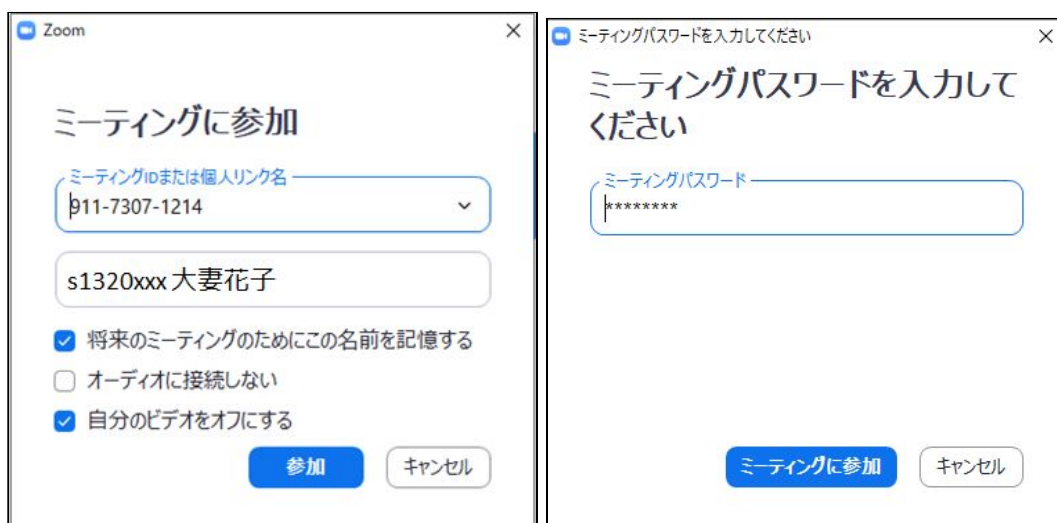
■URLをクリックする方法



（左）「Zoom Meetingを開く」をクリックします。

（右）名前を入力してください。名簿参照するため、学内システム利用アカウントID（あるいは学籍番号）も加えて入力をしてください。

■IDを入力する方法



（左）招待メールにある11桁のIDを入力することでもルームに入室できます。学内システム利用アカウントIDを名前の始めに入力してください。参加ボタンをクリックするとミーティングパスワードを求められます。

（右）招待メールに書かれていたパスワードを入力して、ルームに入室してください。

Zoomの使い方（PC使用）

東京大学のオンライン授業・Web会議ポータルサイトに[Zoomの使い方](#)がわかりやすくまとまっています。またZoom革命の[Zoom日本語クイックマニュアル \(PCユーザー用\)](#)もわかりやすくおすすめです。

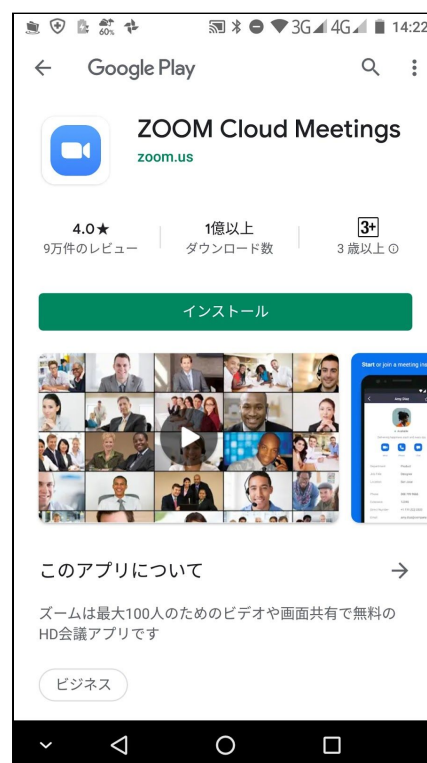
Zoomソフトウェア／アプリをインストールする（スマートフォン使用）

Zoomは参加するだけならアカウントは必要ありません。授業URLからアクセスするか、ダウンロードセンターでソフトウェア／アプリをインストールして下さい。**現在偽物のZoomソフトウェアの存在が指摘されています（参考資料「[【解説】“偽Zoom”の「見破り方」は？」](#)）**。必ず下記のダウンロードサイトからインストールするようにして下さい。

■授業URLを知っている場合

授業URLにアクセスします。

Zoomアプリがインストールされていない場合には、Google PlayやApple Store、またはZoomのリンクからアプリをインストールして下さい。



（左）授業URLを開くと、アプリインストールへのリンクが表示されます。

（右）Google Play上でのZoomアプリです。インストールをタップして下さい。

■授業URLを知らない場合

[GooglePlay](#)または[Apple Store](#)からアプリをインストールして下さい。

ルームに入室する（スマートフォン使用）

ルームに入室するにはURLをタップする方法と、IDを入力する方法があります。

■URLをクリックする方法



（左）「ミーティングに参加」をタップします。

（右）名前を入力してください。名簿参照するため、学内システム利用アカウントID（あるいは学籍番号）も加えて入力をしてください。

■IDを入力する方法



(左) 招待メールにある11桁のIDを入力することでもルームに入室できます。
(右) 「ミーティングに参加」をタップするとミーティングパスワードを求められます。招待メールに書かれていたパスワードを入力して、ルームに入室してください。

Zoomの使い方（スマートフォン使用）

ルームに入室すると、カメラとマイクへのアクセスの確認メッセージが出ます。「許可」をタップしてください。また「デバイスオーディオを介して通話」をタップするとマイクが使用できる状態になります。そのほかの操作方法はZoom革命の[スマホのZoom操作](#)を参照してください。

ルームに入室したら（PC・スマートフォン共通）

教員から指示がない限り、カメラやマイクはOFFに設定しておきましょう。特にマイクは人の話し声だけでなく雑音も拾いやすいので、複数のマイクが同時に音を拾うと、話している人の声が途切れたり、聞こえなくなったりします。発言するとき以外は常にマイクをOFFにする習慣をつけてください。



発言の際には、ミュート解除をクリックし、「〇〇です。質問してよろしいですか？」というように前置きから発言すると、発言者の順番が決まりやすく、また音声重なっても質問自体の音声途切れを防げます。発言の前に必ず非言語フィードバックを使って挙手をする、などのルールをあらかじめ決めておくと、よりスムーズな会話ができます。

Zoomの通信量を節約したいとき（PC・スマートフォン共通）

Zoomの通信量を節約したいときには、

- ・ Zoomのウィンドウ（画面）を小さくする。
- ・ 画面共有時のサムネイルを非表示にする。
- ・ カメラ映像をOFFにし、音声のみ受信する。発言しないときにはミュートにする。

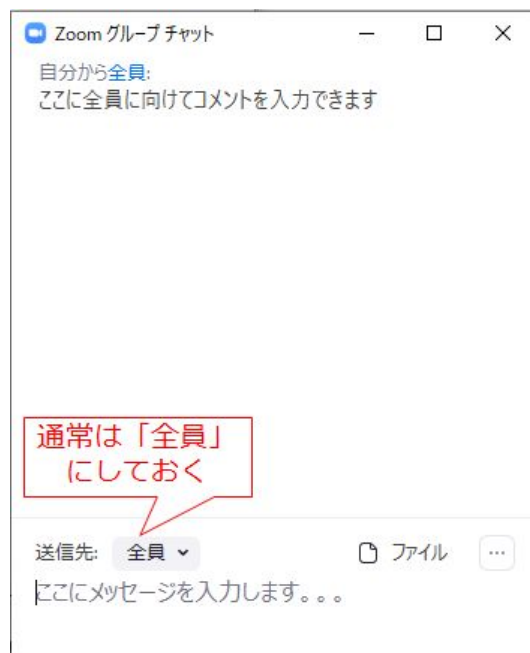
ことが有効とされています。東北大学の村山卓先生による[学生向けZoomマニュアル](#)が参考になります。

初回授業で行いたい演習

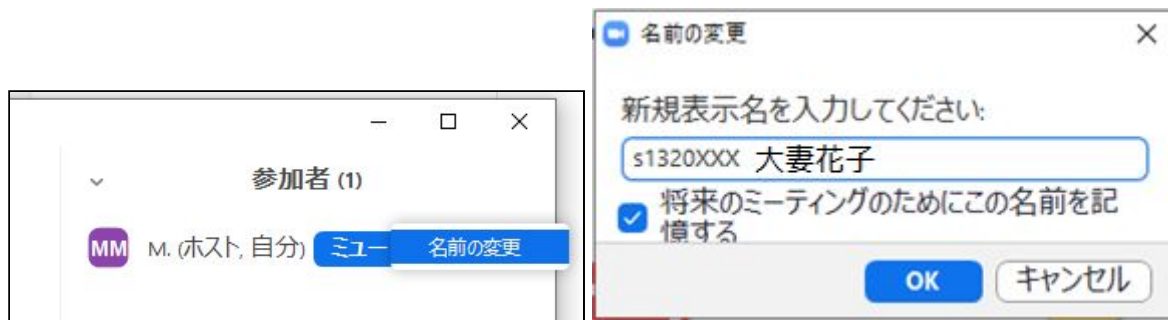
Zoom革命の[Zoom日本語クイックマニュアル \(PCユーザー用\)](#)または[スマートフォンでの操作方法](#)をみながら操作してみましょう



- マイクのON・OFF
- 映像のON・OFF
- チャットの使い方
 - 自分の名前とふりがなを入力してみましょう



- ビュー（見え方）の変更
 - スピーカービュー、ギャラリービューに切り替えてみましょう
- 名前の変更（必要に応じて）
 - 入室の際に学内システム利用アカウントIDを入力し忘れた場合、名前の変更ができます。
 - **PC使用の場合**：「参加者」から参加者ウィンドウを立ち上げ、自分の名前を右クリックすると、名前を変更できます。



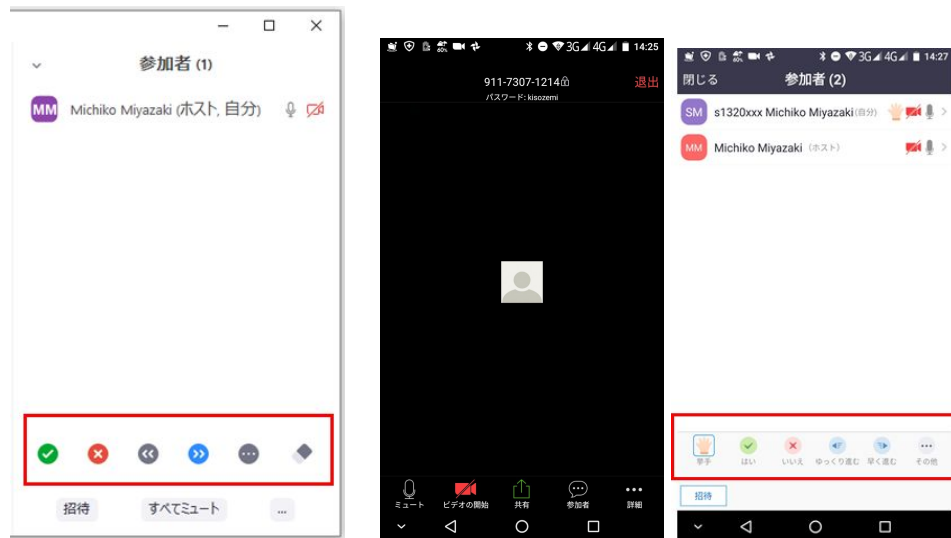
PC版での名前の変更

- スマートフォン使用の場合：自分の名前をタップすると名前変更できます。



スマートフォン版での名前の変更

- 反応（挙手・賛成）
- 非言語フィードバック
 - （左）PC使用の場合：「参加者」をクリックすると右側に参加者ウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部のアイコンから非言語フィードバックを送ることができます。非言語フィードバックは、発言している人を妨げることなく、多くの参加者の反応を示すことができるというメリットがあります（事前にホスト側での有効化が必要）。非言語フィードバックは一度に1種類しか使用できません
 - （右）スマートフォン版使用の場合：「参加者」をタップすると参加者ウィンドウが表示されます。PC版同様、ウィンドウ下部のアイコンから非言語フィードバックを送ることができます。



ウインドウ下部にあるのが非言語フィードバックのボタン
 「はい」「いいえ」「ゆっくり」「はやく」などの意思表示が可能
 (左) PC版、(右) スマートフォン版

謝辞

本資料は社会情報学部情報デザイン専攻の宮崎美智子先生から提供いただきました。オンライン授業運営部会より深く感謝致します。

出典・リンク

東京大学 (2020) [オンライン授業・Web会議ポータルサイト](#) 最終アクセス日 2020/5/1
 Zoom革命 [Zoom日本語クイックマニュアル \(PCユーザー用\)](#) 最終アクセス日 2020/5/1
 松永正樹 (2020) [Zoomを用いた遠隔オンライン授業の実施運営に関する資料](#)
 最終アクセス日 2020/4/29/
 村山卓 (2020) [Zoomによる講義で通信量を減らすには](#) 最終アクセス日 2020/4/29/
 村山卓 (2020) [教員向けZoomマニュアル](#) 最終アクセス日 2020/4/29/